No. 147　　1989年 5月1日　発行

HCTC
Since.5.1972

ガット

東村山市市民テニスクラブ協議会機関紙

コート取り当番担当クラブ		
5月	6月分のコート	美住A
6月	7月分のコート	本町A
7月	8月分のコート	青葉A

発行責任者　柳　利夫
住所　東村山市萩山町5-6-26 301号
編集責任者　黒岩　俊雄
☎ 0423（95）4336

第2回運営委員会報告

by, スポーツセンター
'89.4. 9(日) AM.1.00~3.40

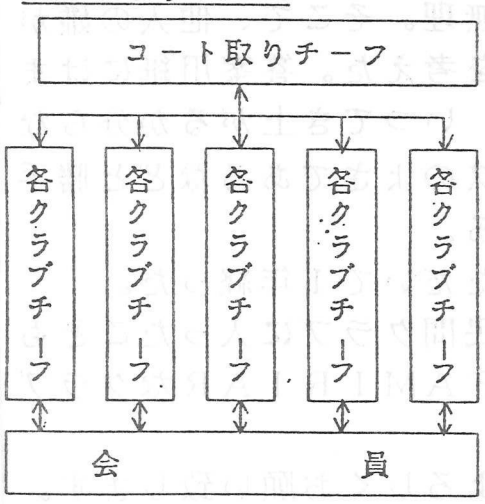
①市民テ名簿について　※…※※※※※
「平成元年度名簿」は、総会において新しい役員が決定されたのを元に編集作業を開始して、3月末に皆さんのお手元へ届けませを致します。住所など訂正がありましたら、お報知部ら連絡戴ければ、「ガット」紙上で訂正のお広待ってます。

②「市民テ会則」作成の中間報告　※※……※※※※
会則の案文は、青葉クラブ会長・藤岡さんの手によりテ成しました。今後は事務局のび皆さんでボラ予定ア完」精神を発揮して、印刷なら製本をする定です。

③新しいローラーが入りました。　※※※……※※※
お気付きと思いますが、久米川・恩多コートに新しい『コート転圧用ローラー』が配備されました。簡単に操作出来ますが、ラー用説明会を行いましたが、整備の時間にはくれぐれも注意下さい。但し、運転時の事故防止には操覚えて下さい。
『ローラー』の鍵（キイ-）は市役所ロッカーに入っています。

④コート取りについて　※※※※……※※
市民テの仲間の皆さんが、練習身に日頃の心がけおよび手順よく楽しくコートを取れるよう熱心に知恵をしぼりました。
(1)チーフ制をとり、コート取りのさい、各クラブ1年間渡り当番制とし、ンターネットを通じて連絡をとりあいます。
(2)各クラブチーフは、当月皆さんに伝えるとともに、確実に受け取りにさいます。
(3)その万一の場合の代替者を決めておくこと。
(4)以上でコートの確保は完了するわけですが、何かトラブルが有りましたらコート取りチーフに連絡願います。

コート取りフロー



⑤コートの草取りについて　※※※※……※
4月の第1週に久米川コートの草取りを全員で行いました。御苦労様でした。
当分は大丈夫ですが、夏になりましたら頃合を見て又実施したいと思います。ご協力方よろしくお願い致します。

第26回 市民春期体育大会

（硬式庭球　中間発表）

男子ダブルスB

優勝　：　佐藤　武彦（レナウン）
　　大村　達夫（レナウン）

準優勝：　和気　孝（明　乳）
　　八尾文二郎（明　乳）

三位　：　河島　和興（市民テ）
　　山口　修史（市民テ）

三位　：　有江　睦雄（一　般）
　　五十嵐　寿（一　般）

観戦記

河島・山口ペア　三位入賞オメデトウ！！

去る4月9日行なわれた男子ダブルスBの準決勝で市民テの河島・山口ペアとレナウンの佐藤・大村ペアとの間で壮絶な戦いが繰広げられた。
スコアは6－6で、タイブレークに持込まれ結局7－5で惜しくも破れたが、これが事実上の決勝戦とも言える大変見応えのある素晴らしい試合であった。

試合中のあの緊張した顔、手に汗握る応援者達の祈るような目、そして何よりも美しかったのは試合後の顔であった。
火照った、そして汗ばんだ顔には、勝敗を越えた輝きがあった。

技術レベルを越え、勝敗を越えて全力投球することにより得られる充実感、そして爽やかさ！！　テニスの素晴らしさを久しぶりに感じさせて貰う事が出来ました。有難うございました。

河島さん、山口さん、これからはAクラスで頑張って下さい。　（M・H）

太田杯争奪　市内団体戦

硬庭連より　再掲

種　目	月　日	曜日	使用コート
男子の部	5月21日	（日）	久米川コート
女子の部	5月28日	〃	〃
予備日	6月　4日	〃	〃
試合内容等	集合時間　・　AM8：00 開会式　・　AM8：20～ 試合開始　・　AM8：30～ 試合方法　・　1チーム〔3ペア〕ダブルス		

各クラブの奮闘を期待します。試合方法は、基本的に市民大会と同様です。

美住のエース登場

私と　テニス

美住クラブ　今井　奨

私とテニスの出会いは遅い方かもしれない。社会人となった頃、硬式テニスは、およそ自分には合いそうにもないと思っていた。ましてや将来これほど凝ろうとは想像だにしなかった。

当時、球技としては主としてボーリングをやっており、時々草野球とパチンコ（？）を楽しむ程度であった。粋がってマイボールとシューズを揃え、乱立するボーリング場によく通った。溝掃除の常連が間違って２００を越えたこともあった。しかしボーリングブームも漸く下火となりつつあった。

そんな折、職場の先輩がヨネヤマ（YONEX の前身。年が知れちゃうナー）のアルミラケットを持って、今ではあまりお目にかかれない白球を颯爽と追い、佐渡おけさのようなフォームでトップスピンを打っているのを見て、それまでの私のテニスに対するイメージが少し変った。お嬢様スポーツとは限らないなと思うようになった。その先輩の勧めで恐る恐るラケットを握ったのが病みつきのきっかけであった。

ボーリング、草野球、テニス、のごちゃ混ぜ時代が２～３年続いたが、幸か不幸かやがて野球年齢からはずれ、ボーリング場の連鎖的倒産などもあり、次第にテニスに深入りした。マイボールは漬け物石にもなれず行き場を失った。

爾来、十数年、月日だけが無為に過ぎ去り、テニス暦だけが立派になった。うなるようなトップスピンに魅せられて始めたが結果は正反対。佐渡おけさのつもりがいつの間にか白鳥の湖に変っていた。時々パワーで勝負したいとも思うが無理なものは無理。そこで、他人の嫌がるショットとは何かを考えた。答案用紙にはまだ空白がいっぱいで、いつでき上がるか分らない。そこがまたテニスのよさであるなどと勝手に思うことにしている。

市民テに入れていただいて１年経った。当市に転居する前に民間クラブに入ったこともあるが、市民テほどＦＡＭＩＲＩＡＲなクラブはないと思う。

皆さん、今後ともよろしくお願い致します。

今月のフジショップによる

用具指導日は

5月21日（日曜日）10時から行います。

編集後記

男子ダブルスAの一部，女子ダブルス，および壮年ダブルスの試合が5月7日に延期になりましたので御注意下さい。　〝市民テ　カンバレ〟